

5. 今月のピックアップ「クワシロカイガラムシ」について

1. どんな虫？

茶の重要害虫のひとつです。雄繭は白く毛羽だったカキ殻に似た形です(図 1)。雌成虫は白色の糸状物質を出して周辺又は全体が白くなります(図 2、3)。



図 1 クワシロカイガラムシ雄繭

図 2 雌成虫

(松阪農業改良普及センター原図)

2. 生態と被害

本県では年 3 世代発生します。第 1 世代は 5 月中下旬に、第 2 世代は 7 月中下旬に、第 3 世代は 9 月上中旬に孵化します。

表 1 亀山市における有効積算温度シミュレーション利用によるクワシロカイガラムシ第 1 世代幼虫孵化最盛日の予測(平成 26 年と平年の比較)

年度	予測日	実測日
平成 26 年	5 月 18 日	5 月 18 日
平年	5 月 21 日	5 月 22 日

標高、アメダスと摘採面との温度差、覆下栽培などによる誤差があるため、実際の防除は、歩行型幼虫発生をルーペで確認して防除しましょう(図 4)。



図 3 雌成虫と卵

図 4 歩行型幼虫

3. 防除のポイント

<耕種的防除>

- (1) 発生が多い場合は、一番茶又は二番茶摘採後に深刈せん定を行い、樹勢の回復を図りましょう。
- (2) 産卵期から幼虫孵化期に摘採等の作業を行う場合、発生の多い茶園は最後に行うようにし、茶袋を別の物に変えましょう。

<薬剤防除の注意事項>

- (1) 防除適期は孵化幼虫歩行～定着直後(幼虫孵化最盛日の 2~4 日間程度)です。これを過ぎると歩行型幼虫が固着して白色の糸状物質に覆われ、薬剤の効果が著しく低下します。
- (2) 指導機関の情報や自園の実際の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
- (3) 葉層があると薬剤がかかりにくいので、専用ノズルや鉄砲ノズルを使って枝幹に十分かかるよう丁寧に散布しましょう。また、散布前に深刈りせん定を行うと効果的です。
- (4) 農薬散布は近隣圃場へのドリフト(農薬飛散)に注意して防除しましょう。